

琉球大学学術リポジトリ

児童の遊びと図画工作

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 喜納, 澄子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/19553

方法について御紹介する事に致します。

材料

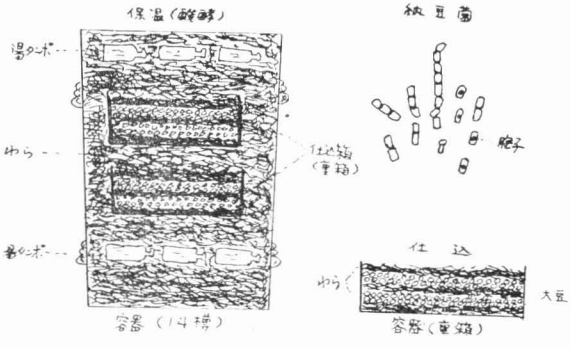
大豆……………五合乃至一升
稲藁……………清潔なもので清潔なもの

仕込箱……………市箱等を利用する

保温器……………一斗樽(味噌の空樽等)を利用すれば良い。

先ず藁に適度の水を吸わせる為清水に一二五割浸けて水を切り、清潔なむしろに包んで寝せておき、大豆は味噌用程度に煮熟します。

次に、藁を適当な長さに切つて二箱の底に敷きつめ熱いものの煮大豆を藁の上に披ひ更に藁を置き煮大豆と藁を交互につめて、これを一斗樽の中に入れて醗酵させます。一斗樽には、あらかじめ底に藁をつめ、湯タンボを入れて保温出来るように準備しておきます。(右参照)



以上のように仕込んで四〇度十四五度(摂氏)位の温度に保つと二百位で大豆の表面が白くなり特有の香味をもち粘気が強くなつて来ますから、これを取り出して徐々に冷やし香味を熟させますと、香りの良い納豆が出来あがります。

納豆の出来る原理

藁には「パチルス・ナットー」と云われる納豆菌が附着して、此の菌が煮大豆に繁殖し大豆の蛋白質を溶解して、消化し易い成分に変えるのであります。尚納豆菌には胞子があつてこれは高温に耐える力が強く煮大豆のように熱いものに附着しても死なずに残り、四〇度―四五度位の至宜適温に温度が降下すると良く繁殖するのであります。

むすび

以上納豆の作り方について簡易な方法を御紹介したのでありますが、納豆の香りは、はじめての人には親しみにくいものと云われます。しかし、ドンブリやおわんに納豆を入れ、匙や箸で十分かきまわして、糸を引く位に粘気を出さして適量の醤油を加え、御飯にかけていただきますと、醤油の香りが加わつて特有の芳香となり、食味も良く、食欲を増すものであります。尚且つ栄養に富んだ滋養食品でもあり、動物性蛋白質の補いにもなるわけであります。

次に納豆製造に関する参考書を御紹介致します。

- 農産加工総論……………増田 千里 著
- 農産加工叢本……………小原晋二郎 著
- 農産畜産食品加工法……………住江 金之 著
- 納豆の合理的製造法……………山崎 百治 著
- 最新納豆製造法……………三浦 二郎 著
- 農産物利用学……………成瀬金太郎 著
- 農産食品加工法……………谷田沢道彦 著

(一宮 里 興 信)

兒童の遊びと

図画工作

幼ない子供にとつて々遊ぶという事は大人が生活するといふ事と同じ程重要な意味を持つて居ります。

遊ぶ事が彼らの生活なのです。彼らは経験が浅いので凡ゆるものに興味を持ち、それを知りたがりです。いろいろなものが不思議で仕方がないのです。そして大人をつかまえては突拍子もない質問を浴せたり、何かを発見しようとして玩具をこわしたりします。ですからこの時期を「なぜなぜの時代」ともいいます。

なぜ々と聴かれた時大人は決してうさがつたり、笑つたり或いは物をこわしたと云つて叱つたりしてはいけません。子供に分りやすく説明してやるとか、間違つて居る時は真面目に教えてあげる様にします。玩具をすぐこわしてしまつてと云つて嘆く母親をよく見かけますが、そういう子はそれだけ知識慾が旺盛だともいえるのです。一つ一つ経験を重ねて行く事によつて人は成長して参ります。或る心理学者が人間の人格は六才迄にはすでに出来上つて居ると云つて居る事によつても幼児の教育が如何に大切かお分りになると思ひます。幼い子供は特に感受性が強いので非常に傷つけられやすいのです。彼らにもそれれれに自尊心があります。ですから他人の前で子供の欠点を云つたり叱つたりしないように気をつけるべきです。

「三つ児の魂百まで」という諺もありますように、幼い時にうえつけられた劣等感はその人の人間形成に非常な影響力をもつて居ります。

日本の母親は世界中で最も子供を可愛がる。母性愛が強い、日本は子供の天国だといふ事を時々耳にします。しかし果してそれは正しい愛情でしょうか。本当の愛情は無条件に可愛がる事ではなく、自分の感情に左右されずに理性的で常に子供の為

を考へて行動する事だと思ひます。往々にして大人は子供を自分達の玩具のように考へたり、その行動に於いて余りに感情的であつたりします。子供は家庭の鏡といわれませんがまさにその通りで彼らは大人のまねをそのまゝ致します。父母が口では説教じみた事を云い乍ら行動が伴わないと子供は親に対する信頼を次第に失つて来たり又二重性格的な子になつたりします。子供の指導には家族の八人が協力しなければなりません。小さな子が正確に発言出来ないのを大人がまねて云つたりしますと非常に言語の発達を妨げます。又社会性を養うためには多くの子供と交る機会を作つてあげる必要があります。幼児の教育で大切な事は個人個人の個性をよく知りその持つてゐる才能を充分に伸ばしてあげる事です。どんな子でも何か特に好きなものとか得意なものを持つて居ります。それを出来るだけ早く発見してその方面の才能を育てゝやる事です。

子供は遊びの中から種々な事を学び創造します。ですから子供に遊ぶのによい環境を与えるという事は大切な事です。それは必ずしも高仙なおもちゃを与えるのではなく、それよりもむしろ自然の中から発見させるのです。彼らはかぶと虫一匹でも草花でも、小石でもあらゆるものから学習します。時には大人も及ばない詳しい観察をする事があります。そういう自然にあるものを利用して子供に学ばせるといふ事が一番かこしい又効果のある方法だと思ひます。態度を改めて教えるというのではなく、子供が興味を失つた時に指導してやればよく理解するでしょう。

子供が着物を汚した時、叱る母親がありますが、それは決して彼らの責任ではなく、汚しては困るような着物を着せる母親が悪いのです。子供が出来るだけ伸び伸びと遊べるように幼児の着物は洗濯の効く、どんなによいしても構わないものを着せるべきです。汚すとお母さんに叱られるという事になりますとあはれ廻りたい子供の本性がおさえつけられて、大人しいけれども活気のない子供になつてしまひます。

又母親は一日に何時間か、あるいは何分かで子供と一緒に遊ぶ時間を持たたいものです。母親が自分達の遊びに参加するという事は彼らの楽しさを倍加させると共に母への信頼が強まります。又子供の遊びを観察する事に依つて母親もいろいろの事を学び、子供の性格も理解出来るようになると思ひます。

子供は大いにあはれ、はしやぎ廻る事もいゝのです。又時には静かに絵を書いたり、折紙をしたり、その他の工作をさせるのも、精神の修養にもなりますし、情操を豊かにする事になりますので大いに奨励してあげる必要があります。母親が常に子供と一緒に学ぶという気持を持ちつゞけ何時でも子供のよい友達、よい相談相手になつてあげられたら非常に立派なお母さまだと思ひます。余りに放任にしないで子供にいい遊び方や学ぶ方を教へてあげるのも大切な事です。子供の作品を見て笑つたりしないで、説明してもらつよにしますと絵からお話を作り出したり又彼らの生活を知るのによい資料にもなります。そういう意味においてこゝでお母様方に三兒童工作を御紹介しておきます。

① 砂 絵

おのりを少し固めに作つて紙に筆や棒のような先の尖つたものにのりを含ませて好きな絵を描きその上に成るべく細かい砂をパラパラとまいて一度他の紙で、上からおさえてから、紙についた余分の砂を払いおとします。おのりの上だけに砂がついていて綺麗な絵が出来上ります。

② をがくず絵 (又はもみでもよい)

①と同じ方法でやるのですが、この場合をがくずを色々な色に染めてから描きますと、もつと楽しい絵になります。この場合、一色づゝおのりをつけて、それを払いおとしてから別の色ののりをつけるようにします。染める時は染料でも絵具でも或いは食紅でも結構で、水にとかしてそれにをがくずを入れ、色がつきましたら日向に暫く乾して、かわいてから使用します。

③ 卵のから絵

卵の殻の中のうすい粘膜を取り去り、種々な色に絵具でぬつて、それを細かく砕き、紙の上におのりで好きな画になるようにはつて行きます。貝がらでも出来ますし、小さな紙の箱などにしますと素晴らしい装飾になります。少し大きい子になりますと、貝殻で小さな食卓や本箱なども飾る事が出来ます。

④ 指 絵

おのりに絵具や染料をまぜて紙一面にのぼしその上に指で画をかきます。かわいたら面白い絵になります。

○その他お芋をナイフで彫つて絵具をつけ、紙におして出来た芋版や木の葉で作つても面白いのが出来ます。

又粘土いじりは子供の大好きな事です。粘土で何か作らせたり、砂いじりでトンネルやお山を作らせたりするのも子供を夢中にさせますし、子供は自分の印象にある事や、思ひついた事を工作に表しますから、何か気持の中でおさえつけられてゐる場合には、そこにはけ口を見つけて、悪い方に行かないという事にもなります。



無邪気に土と遊ぶ子供達

ヤンマーS型

ディーゼル機関の取扱法

又折紙も着画紙などを使つてもよいのですから教えてあげたらいいと思います。始めは教わつた通りに作るでしょうが、その中にいろいろな物を自分で考え出して創るようになります。折紙をさせる事によつて物の特徴をよくとらえるようになります。少し想像力の養成にもなります。画を描かせる時にも本物に似ていないと上手でないと思つたのは間違いで、子供の頭の中にあるものを表現させるように指導すべきです。画によつても大抵の精神の発達段階を知る事が出来ます。幼児の教育に當つては先ず児童の発達の状態や、今迄の経験を考え合わせてしなければなりません。個人個人はそれぞれ先天的にも素質が異なり、又環境も異なるために、同じ年令の子供でも発達の状態が違いますので、何才位の発達をしているかをみて、それに適したように指導し、今迄環境に恵まれず、よい素質を与えられ乍ら、埋もれてしまつていても知れない芽を正しく伸ばしてやらなければなりません。画に見る発達の状態の分類は學者によつて違いますが、衝動的にめちやくちやに人の真似をして描く衝動面時代から何かの目的を掲つて描こうとする偶成画になり、一つ一つは何かの意味をもつているが全体としては関連のない羅列画時代を経て、物を見えるまゝに描こうとする写実画時代に至ります。

戦後の幼児教育で大切な事は以前は児童とは大人の未完成なものだと考えられていたのですが、児童は決して大人の未完成なものではなく、子供の世界は大人の世界とは、全然別のものがあり大人の世界より、ずつとずつと広く美しいものであるという事です。そういう事を念頭において、この子供の楽しい夢をもつともつと育てあげようではありませんか。

(喜納澄子)



近年、農業の革新、農業の科学化、農村文化の向上に伴つて農業機械化が必然的に推進され、農機具に対する知識、特に其取扱法に関する知識を習得する事が緊急の事となりました。然るに、玩球の農家は機械に対して、とかく理解と親しみを有せざる為、折角入手した農業機械もその取扱いが正しくない為充分使いこなせなかつたり、徒に寿命を縮めて使えなくしたりする例が多いように思われます。

書籍その他を通じて、機械に対する観念を向上し、農業機械の正しい取扱法に習熟され、農業経営の合理化を推進して戴きたいと思ひます。その一端として各種の用途に動力源として広く用いられているヤンマーディーゼル機関の取扱法を紹介いたします。

一、始動前の準備

燃料の供給……重油を布でこして燃料タンクに充す。タンクの下部にある掃除コックを開いて水分や汚油を除去した後、重油濾過器のコックを開いて燃料ポンプへ送油する。タンクの内部や濾過網は半月に一度位石油で洗つことが望ましい。

潤滑油の供給……モビル及びグリースを各注油窓に満す。注油窓のついてない運動部分には油差してモビールを少量宛与える。特に、長く休んだ後、運転する際は洩れなく注油箇所を調べなければならぬ。

冷却水の供給……冷却水は塵埃其他の不純物を含まぬ軟水、即ち雨水、水道の水を用いるのが最もよいが、井戸水、川水等を用うる時は石鹼の泡立ちのよい水を扱ふようにする。

ブライミング……始動前に燃料ポンプから給油管を経て噴射弁まで燃料を満さなければならぬ。この操作をブライミングと

云い、ブライミングを行うには噴射弁の管接手を僅かに弛め燃料ポンプのハンドルを漕いで空気を追出して管接手を締め、更

一 一回漕ぐとハンドルが重くなつて噴射弁に重油が充満する

二、始動

先ず始動レバーを始動位置に置き、ハツミ車の始動用ハンドルを数回転し、だ力をつけた後始動レバーを運転位置に切換えると、シンダー内に圧縮を生じ、ハツミ車が重くなるが、一 一回漕げて廻すと始動する。手廻しが重くなつた時、手を離すと機関が逆転して、危険であるから、決して手を離さず、だ力を利用して力強く廻転するように心掛けねばならない。

逆転するおそれのある場合には始動レバーを直ぐに始動位置へ戻して回転を阻止する。噴射弁の調節ナットを少し強めに締めてバネの力を強くしておく、燃料が霧状に噴射して始動が容易である。

三、始動後及び運轉中の取扱

始動したら注油器からシンダーにモビールを一分間に二五 一〇滴位の割合で滴下する様に。始動時に締めた調節ナットを少し弛め円滑に運転出来る様にする。

回転数調整レバーを用いて回転数を変動させる。標準回転数は七百―八百であるから成可くその近くの回転数を保持するようにする。

運転中は何時も排気の色、音響に注意する。

排気の色 燃焼状態

無色 適当

黒色悪臭 濃厚過ぎる。